ハレノワレター 千日前

OKAYAMA PERFORMING ARTS THEATRE, HARENOWA
Harenowa Letter Third Issue

第3号 2023

100人ダンス創作中!

Creation of the 100 Dancers Project

2023年9月1日、岡山芸術創造劇場 ハレノワが、グランドオープンを迎える。

こけら落とし公演は、ギリシア悲劇を原作とした伝説のオペラ『メデア』。日本初演作品が岡山に登場する。園田隆一郎指揮、栗山民也演出、岡山フィルハーモニック管弦楽団の演奏で、豪華にハレノワの幕が上がる。その後、9月3日に「100人ダンス」が行われる。表町商店街の北端から南端までのダンスパレードのあと、岡山芸術創造劇場で市民ダンサー100人による「born dance（盆ダンス）」がくりひろげられる。昔からお祭りを楽しんできた表町で、市民と劇場による新たなダンスが生まれる。

The Grand Opening of Okayama Performing Arts Theatre "Harenowa" will be held on September 1st, 2023. The opening performance will be the opera Medea conducted by SONODA Ryuichiro, directed by KURIYAMA Tamiya, and performed by the Okayama Philharmonic Orchestra.
Later, the 100 Dancers Project will be presented on September 3rd. After a dance parade from the northern to the southern ends of Omotecho Shopping Street, a hundred citizen dancers will perform "born dance" (a new Bon dance to celebrate the theatre being "born") at the Okayama Performing Arts Theatre. Omotecho Shopping Street, which has always historically enjoyed its festivals, will witness the birth of a new dance created by its citizens and its theatre.

パレード

100人ダンスのスタートは、北村成美 演出・振付、ハレノワダンサーズによるダンスパレードでスタートする。

ソウゾウのフネ

今回、「ソウゾウのフネ」という山車が、パレードとともに進む。「想像」であり「創造」というネーミングのとおり、衣や役割を次々に変えて、想像をかきたてる存在。表町では、江戸時代から、祭りの際にはさまざまな物語や場面を模しだんじりが製作され、行列を彩ってきた（裏面参照）。「ソウゾウのフネ」は、その逸話も思い起こさせる。

born dance（盆ダンス）

「劇場が生まれる＝born × 盆踊り」その発想から生みだされたのがborn dance。「100人ダンス」では、2022年11月から計4回のワークショップを行い、北尾亘とともに、岡山の街を歩いたり、岡山の魅力を考えたりしながら、born danceの原型をつくった。さらに磨かれ、9月3日に披露される。

北村成美（きたむら しげみ）さんインタビュー

喜びを分かちあい、祝福しあうようなパレードをつくりたい

昨年2022年9月の「劇場へ行こう！」は、街を舞台にした夢が叶ったような気分に浸りました。ハレノワダンサーズのみなさんとやり遂げたとき、ずっと思い描いていた8か所で6時間半にわたって踊る、今までにない規模のイベントでした。でも、「100人ダンス」ではさらにその先へ超えていくようなものを、私もみなさんもまったく見たことがない、想像もつかないような素晴らしい景色をつくっていきたい。パレードには、舞台芸術の醍醐味が街の中に流れ出てくるような魅力があります。ただのお祭り騒ぎではなく、そのときにしか立ち会えないというの「特別感」を大事に、みなさんの記憶の中に生き続けるパレードをつくりたいですね。身体から溢れ出てくる喜びをお互いに分かちあい、みんなで祝福しあうような関係になりたいと思っています。まずは私自身が楽しみながら、「これは踊らずにはいられない！」って気持ちになるダンスを目指します。用意された振付を踊るだけじゃなく、ダンサー同士の会話、コミュニケーションの中で生まれていくダンスのほうが真実味があるはず。“振付を”踊るのではなくて、“振付で”踊れるようになりたい。振付のことを考えなくても身体が勝手に踊れるような。踊りながら、その場の景色をまるごと楽しみ、その場で起こることに感動し続けられるといいですね。新しい劇場が生まれ、オープンに向けて100人と一緒にダンスをできる経験は、私の人生の大きな事件です。北尾さんとご一緒できて、お互いに扉を開きあって交換しながらつくっていくのが楽しくて仕方ありません。日本でいちばん新しい劇場が生まれるその日が、それぞれの人生の歴史の1ページを飾るハレの日になりますように！ ひとりでも多くの方々に一緒に踊って頂きたいですし、ぜひこの場に来て目撃して体感して頂きたいと願っています。

Interview with KITAMURA Shigemi

Sharing the joy - creating a parade to celebrate each other.
After the "Let's Go to The Theatre!" event in September 2022, I felt that a long-standing dream had come true. Now I want to make the 100 Dancers Project something that will go even further, creating a fantastic landscape that no one has ever seen or even imagined before. It's so much fun exchanging ideas and working together with Kitao-san. Celebrating the birth of this new theatre with 100 dancers will be a huge event for everyone. I hope it will be a memorable day for everyone. I hope lots of people will attend on the day, witness dance with us, and witness this incredible event.

「100人ダンス」ワークショップ

2022年は4回にわたりborn danceワークショップを実施し、のべ101人が参加しました。

「100人ダンス」は2年継続のプロジェクトです。

参加者の声

ダンスでこんなに元気をもらえる時間になった。

人と人がつながった。

勇気と元気をもらえる時間を過ごせた。

楽しくはじめることができた。

踊ってパワフルなった。

汗だくになって踊るのは楽しかった。

知らない人と一緒に踊るのは楽しかった。

楽しかったし、本当の意味で踊ることができた。

1人でもっと楽しくなった。

2022年11月26日 考えてつくるborn danceワークショップ

2022年11月27日 歩いてつくるborn danceワークショップ

2022年12月10日 つくる・おどるborn danceワークショップ

2022年12月11日 みんなで踊ろう！born danceワークショップ

このようなダンスは初めてで、とても楽しかった。自分たちで作る難しさ、作り出す喜び、いろんな「初めて」を体験できた。

ダンスに苦手意識があったけど、完璧にできなくても、参加して、やってみれば、なんとなく楽しい。それで良い。

ハレノワダンサーズ募集中!

「100人ダンス」に参加する市民ダンサー「ハレノワダンサーズ」を募集いたします。

応募締切は7月23日。

詳しくはこちら

北尾亘（きたお わたる）さんインタビュー

未来につながる 素敵なダンスを 岡山の地から発信しよう

「100人ダンス」のワークショップには、やる気とエネルギーに満ち溢れた方が数多く参加してくださいました。岡山のみなさんの情熱と好奇心、ダンスへの欲望を強く感じて、ダンスがもつ根源的な楽しさや喜びを教えてもらったような気持ちです。岡山の人は穏やかだと聞いていましたが、じつは相当なお祭り好き、イベント好きで、激しさを内に秘めていることがわかってきました。そんな岡山のみなさんとつくる「born dance（盆ダンス）」は、新たに誕生するハレノワという劇場で、この先10年20年と踊りつがれる可能性のある、未来につながる踊りなので、とにかく楽しい、新しい踊りにしたいと考えています。一回踊って「楽しいね」だけではすまない、その先もずっと踊り手の生活や人生に侵食していくようなダンスにしたいですね。今回パレードを担当する北村成美さんと初めてご一緒できる機会が得られ、最初はすごく緊張していました。いざお会いしてみると、フレキシブルかつ謙虚な方でびっくり。北村さんの創造することへの情熱に感化されて、意義のあるコラボレーションになることを確信しています。老若男女関係なくみなさんが同じ場に集って、同じ踊りを踊ることができるのが盆踊りの魅力です。ワークショップでも幅広い年代を対象に募集したことで、世代を超えて語り合い、サポートし合い、お互いを高め合う、そんなポジティブな関係性が生まれています。熱いみなさんにこんなにたくさん集っていただけたのだから、自由な場をつくり、新しい振付、新しいダンスの可能性を手渡すことでお返ししていきたい。舞台となる表町は各町でそれぞれの特色が守られてきた豊かな商店街だと感じました。ここからダンスを通して岡山の魅力を発信したり、ダンスをきっかけにいろんな交流が生み出せる、いい機会になれば嬉しいです。そのためにも、まずは一緒に踊りましょう。いざ出陣！

Interview with KITAO Wataru

Creating beautiful dance that will live into the future, right here in Okayama
It was great to see so many energetic and excited participants at the 100 Dancers Project workshop. I witnessed Okayama's enthusiasm, curiosity, and desire to dance and that reminded me of the joy that dance can bring. Some people say that Okayama's residents are quiet and calm, but I was surprised to learn that they show intense passion when it comes to festivals and events.
The "born dance" that we are creating has the potential to be performed for 10 or 20 years and then be passed on to the next generation, so above all we want it to be fun. I felt that Omotecho is a rich and diverse district, with each area maintaining its own unique characteristics. Hopefully this dance can reflect Okayama's beauty, while also providing a chance for people to come together.

Photo by Kenji Kagawa

岡山芸術創造劇場 ハレノワ
Okayama Performing Arts Theatre, Harenowa

岡山芸術創造劇場ニューズレター
「ハレノワレター 千日前から」第3号
2023年3月27日 発行

発行
公益財団法人岡山文化芸術創造
岡山芸術創造劇場
〒700-0822 岡山市北区表町3-11-50

デザイン 奥山太貴
英訳 Joel Ward / 江原紀子
編集協力 吉備人出版
印刷 株式会社三門印刷所

記事・画像の転載・複写を禁止します。

パレード 出発 9月3日 15時ごろ → 17時 born danceスタート!

ハレノワレター

極 表町 大祭

祭をつくって楽しむ街、表町

Omotecho – the festive district

岡山芸術創造劇場の地元、表町商店街。今回パレードが練り歩く「表町商店街では、江戸時代に商店が軒を連ねた当時から、にぎやかな祭りがくりひろげられてきた。現代まで続く秋まつりのほか、戦後は「商工まつり」が岡山市街で行われ、表町商店街の人々も参加した。今回は、表町のお祭りやパレードに様々な形で関わった方々、江戸時代の祭りの絵巻に詳しい方にインタビューを試みた。祭りをつくって楽しんできた表町の歴史は、ハレノワの「100人ダンス」、そして今後の活動にもつながっていく。

片山節子さん（表町商店街「カタヤマ店」店主）インタビュー

秋のだんじり祭りのあたり鉦（コンコンチキチン コンチキチ）は、いつも主人が担当していました。祭りの日は娘たちに着物を着せ、各家庭ではばらずし（祭ずし）を作ります。椎茸を煮る甘い匂いが、祭りの雰囲気を盛り上げていました。表町商店街の中の各町内ごとに、男たちと子どもたちでだんじりを曳いて、子ども同士が、コチャエを大きな声で歌ったり、銀玉鉄砲を打ちあったりして、「わが町がいちばん良い町なんだ！」と競っていたんです。お祭りの日は、だんじりの邪魔にならないように店先の商品を仕舞ったりしますが、活気があって、町内の人たちが団結・結束する日なので、ずっと続いてほしい。劇場で新しい祭りや踊りができるのは大歓迎です。表町に住む人が増え、表町を大切に思う気持ちで祭りが育っていくことを期待してます。

小西泰介さん、祀子さん（表町商店街 元「七福履物店」）インタビュー

小西泰介さん

戦後、岡山には「専門店会」や「模範店会」「優良店会」といったお店の連盟がつくられ、私の店も専門店会の一員でした。その後、全国の都市にできた専門店会が集まってパレードをしたり、岡山の公会堂で歌謡ショーをやったりしたことも。連盟内では店同士のつながりが強かったものです。表町商店街の中でも栄町には呉服店が多く、昭和30～50年代ごろの栄町のだんじりは女の子たちがみんな晴れ着を着ていて華やかでしたね。私もコチャエを歌ってだんじりを曳き、今村宮まで練り歩きました。お祭りはずっと続いてほしいですし、新しい劇場のイベントにもぜひ参加してみたいです。

中川雅子さん（振付師）インタビュー

私は以前、市民の観光PRチームとして、自分たちで振付したコチャエの踊りをさまざまなイベントで踊っていましたが、それを見た表町の方から「だんじり祭りでみんなで踊れる振付を作ってほしい」と依頼されました。コチャエの唄は各町のだんじりを曳くためのもので、お祭りでみんなで踊る振付はなかったです。「子ども年配の方もみんなで踊れる」「簡単で威勢のいい」「商店街が元気になるような、誰でも、いつでも、表町に行けば買い物ついでに踊りの練習ができたり、いつ在のコチャエの振付を創りました。秋のだんじり祭りのときだけでなく、他にはない表町文化が育まれていくことを期待しています。「お祭りを次の世代もアーケードの片隅で誰かが踊っていて、気軽に参加できるような、コチャエの踊りも、ハレノワのborn danceも、多くの方に親しんでもらえて、表町や劇場に子どもたちに残していきたい」という表町の方の気持ちに私も賛同します。

岡山商工祭
仮装行列
表町・栄物探検隊
昭和31年4月15日
提供：カタヤマ店

井口和子さん（「ニューオリンズ・ビートがやってくる」企画）インタビュー

ニューオリンズジャズのトランペット奏者、MITCHさんの8人編成のバンド（MITCH'S LIL BRATS BRASS BAND）が、約20年前から、毎年、岡山のルネスホールでコンサートをしているのですが、岡山県文化連盟の「おかやま県民文化祭 文化がまちにある！プログラムin備前」の一環として、コンサートの前に、表町商店街でもパレードをしてもらっています。当初は表町商店街の北のエリアだけだったのですが、南のほうのお店の方々からも、楽しそうだから来てほしいと言われて、今では北端から、南時計台を回って新西大寺町まで行っています。商店街のお店の人やお客さんは店頭から手拍子で、外から商店街に来ている人は、音につられてパレードの後ろを歩いて参加します。アーケードの中は雨天の時も開催できますし、屋外で、声を出すわけではないので、コロナ禍の中でもパレードを毎年続けることができました。商店街のアーケードに音が響き渡って、お店の人もお客さんもミュージシャンも盛り上がる、とても表町らしいイベントになっています。ハレノワができたら、音楽はもとより演劇やダンスの分野でも、表町商店街がさらに盛り上がることを期待しています。

ミッチズリルブラッツブラスバンド　ニューオリンズ・ビートがやってくる　2021年

備前岡山だんじり祭り　2021年（提供：アサノカメラ）

同　2022年（提供：アサノカメラ）

◁商工祭行列　模範店会　開運龍
昭和30年4月　提供：カタヤマ店
▽岡山商工祭で南蛮観測船を模した山車
昭和31年4月　岡山シティミュージアム蔵

絵巻に見る江戸時代の岡山の祭り

谷一尚（たにいち たかし）（林原美術館館長）

「菖蒲賦物絵（しょうぶふしものえ）」は、江戸時代、岡山藩主池田継政が、次男の誕生を祝し、藩を上げておこなった祭りを描いたものです。このとき、町内ごとに凝った山車をつくって練り歩きました。絵巻を見ると、当時の人々が、祭りが大好きで大いに楽しんでいた様子が想像できます。ほかにも江戸時代の岡山藩には「東照宮祭礼」などの祭りがあり、大規模な行列が表町を通っていました。今、これらの祭りがそのまま行われているわけではありませんが、祭りを楽しもうという気持ちは、今の表町の人々にも受け継がれていると思います。

菖蒲賦物絵（林原美術館蔵）　上：雪玉のだんじり　下：上之町

The Omotecho Shopping Street, where the Okayama Performing Arts Theatre stands, was the venue of lively festivals since the Edo Period. This is vividly depicted in picture scrolls in the collection of Hayashibara Museum of Art. After the war, Omotecho businesses were part of the Okayama Commercial Festival which was held throughout the city. Ms KATAYAMA Setsuko who runs a shop in the Omotecho Shopping Street recalls the Autumn Festivals when each district would parade its own *danjiri* (festival float) through the streets. She expresses her wish that the festivals continue into the future as a way for the community to come together. She is looking forward to the development of new festivals and dances at the theatre.

Ms IGUCHI Kazuko, who has planned the New Orleans Jazz Parade along the Omotecho Shopping Street, says it aims to be a place where retailers, customers, and artists can celebrate together.

Choreographer Ms NAKAGAWA Masako was commissioned by the shopping street and has produced a dance that everyone can participate in, to the traditional Autumn festival "Kochae" music. She hopes that everyone, especially children, can enjoy the Kochae dance and the "born dance" at the theatre.

岡山芸術創造劇場
「ハレノワ」は、「魅せる」「集う」「つくる」という活動を中心として展開していきます。これまで岡山市内で実施されてきた「魅せる」「集う」といった活動をより一層強化するとともに、芸術文化団体や市民が行ってきた様々な創作活動を支援し、新たな文化芸術の創造につなげていくために、「つくる」活動を実践していきます。

岡山の新たな文化芸術の発信拠点

開館事業
特設サイトは
コチラ

https://okayama-pat.jp

岡山芸術創造劇場 ハレノワ
Okayama Performing Arts Theatre, Harenowa